

Team 2023

ご卒業おめでとうございます

本日、令和5年度の卒業式を行いました。式の中で読み上げられた、送辞（在校生から）と答辞（卒業生から）を掲載しますので、卒業生の3年間を一緒に振り返っていただければと思います。

～送 辞～

学び舎に吹き込む冷たい風も、いつしか和らぎ、暖かな春が近づいて来ました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私たちが、3年生と出会ってから小学校を通じた約7年間は、あっという間でした。もうみなさんと同じ学び舎で過ごすことができないと思うと、とても寂しい気持ちでいっぱいです。

3年生の皆さんと過ごした日々を振り返ると、様々な楽しかった思い出が浮かんできます。特に体育祭や文化祭の行事は、一緒に過ごした印象深い思い出です。

体育祭では、応援団での練習や3年生として後輩を引っ張る姿に、やってやるぞという勢いを感じました。本番では、いつもより真剣な眼差しで



タイヤを取り合うなど、迫力ある皆さんの姿が印象に残っています。リレーのとき、どれだけ差がついてもあきらめず、

最後まで走りきっていたときの姿や、ムカデリレーで最後、私たちを抜いたときの3年生の背中には意地を感じました。

文化祭では誰もが聞きほれるような歌声で堂々と歌ってくれて、自分たちのお手本となる合唱を披露してくれました。和太鼓では、前日に「ミスるかも」と私たちに弱音を吐いてきた3年生でしたが、本番では、とにかく大迫力で心のこもった素晴らしい演奏をしてくれ、私たちの心に響き

ました。どれだけ練習を重ねて、努力したかが分かる3年生の団結力を感じた演奏でした。人の心が動くような演奏をありがとうございました。私たちも皆さんのように人の心を動かすような演奏をしたいです。

部活動では、何も分からない状態の私たちを引っ張ってくれました。3年生が引退するまでの間、部活動を楽しんできたのは3年生たちのおかげだったのだと思います。部活動の中できつても嫌だということもあったし、自分の思うようにプレーできなかつたりすることもありました。でもそのときには、必ず3年生が教えてくれたり、あきらめかけている私たちを奮い立たせてくれたことを今、自分たちが部活動を引っ張る立場になってみて改めてありがたかったな、と感じているところです。大会の中では、悔しい結果になったこともあり、涙したこともありました。自分たちとは実力が違い、遠い存在と思っていた3年生と思いを分かち合えた、いい思い出となりました。

普段の生活では、皆さんは本当に親しみやすい先輩たちでした。私たちから話しかけやすく、休み時間にとっても楽しく会話したことも思い出に残っています。3年生は、私たちにとって少しヤンチャな先輩方でしたが、親しみやすく、頼もしくもありました。専門部では、分からないところを教えてくれて、とても頼りになる先輩でした。

私たちの学校生活が明るくなったのは、3年生のおかげです。また、私たちの相談なども聞いてくれました。そのことが、ためになったりすることもありました。そして、どんなことも自分たちには、一緒に過ごした時間が、かけがえのない大切なものになりました。私たちが3年生のよ



うに、新1年生のみなから、親しみやすいと思
ってもらえる先輩になりたいです。また、体育祭
や文化祭、部活動や地域活動、普段の生活で、後
輩たちが安心してついてこられるような、頼って
もらえる上級生になりたいです。そして、皆さん
に教えていただいた、この学校の伝統である西中
魂。私たちも後輩に受け継いでいきます。

最後に、3年生の皆さん。中学校を卒業し、こ
れから先、色々な困難に直面すると思います。こ
れからの時代はAIが普及し、予測不可能な社会
になっていくと言われています。こうした見通し
のつかない社会でも、挨拶、返事、主体性、全力
の西中魂を胸に秘め、個性を最大限にいかしてい
ってください。

これからの皆さんのご活躍をお祈りしていま
す。本日は、本当にご卒業おめでとうございま
す。

令和6年3月13日

在校生代表 堀内鼓太郎



～答 辞～

春の暖かい風に、花の香りを感じる季節とな
りました。私たち13人は、今日、思い出の詰ま
ったこの西土佐中学校を卒業します。

先生方、在校生の皆さん、私たちのためにこ
のような心温まる式典を催していただき、ありが
とうございます。来賓の皆様、保護者の皆様、お忙
しい中、私たちの卒業式に来てくださったこと、
厚くお礼申し上げます。

過ぎてみれば、笑いあり、涙ありの3年間です



た。そんな私たちの
思い出はたくさん
あります。

中でも私たちの
絆が深まり、印象に
残っている思い出

は、体育祭と文化祭です。体育祭では、白組も紅
組も楽しそうにしていたのを、今でも覚えていま
す。応援団を中心に、夏休みから学年関係なく意
見を出して、思い出に残る体育祭にできました。
ダンスでは男子が赤白ともにスカートをはき、キ
レキレでうきうきしながら周りの人の雰囲気
を和ませたり、楽しませていたことが、印象に残
っています。また、ムカデリレーでは、2年連続で
学年賞をとるなど、クラスの団結力がより一層高
まった行事となりました。

文化祭では、1年生から3年生まで個性があ
ふれた発表があり、各学年すばらしい歌を家族や地
域の方に届けることができました。文化祭で演奏
した和太鼓は、みのり太鼓の今城さんが、1つ1
つの音に心を込めたり、周りの音を聞いて合わせ
たらいいと熱心に教えてくださいました。だから
みんなの音が合うようになりました。その活動
を通して3年生の団結力を高めることができ、と
てもよい経験になりました。在校生の皆さんには
これからも行事を全力で楽しんで、私たちと同じ
ように成長して行ってほしいです。

また、行事だけではなく、部
活動も全力で取り組みました。
部活動では、1人1人が一生懸
命頑張ったり、部活動の皆で一
丸となったりして、目標達成に
向けて1日1日の練習を続けて



きました。そんな部活動は、私たちの成長に欠か
せない経験でした。1年生の頃は、50分と慣れ
ない授業が終わり、ヘトヘトに疲れている中での
部活動は大変でした。学習と部活を両立していた
先輩たちはさすがだなと思いました。そんな先輩
をお手本に部活をコツコツと頑張っ、大会に出
ることができました。大会ではたくさん負けて、
悔しい思いをすることも多かったです。でも3年
生になったとき、私たちは先輩の力を借りなく
ても、自分たちで後輩と一緒に部活をしていくこ
ができるくらい力がついていました。自分から準
備物を出したり、物事やルールについて話したり
して集中して取り組める雰囲気をつくることが



できました。大会では、目標を達成できたり、全力でプレーしたりすることもできるようになりました。



後輩に格好いい姿を見せることができ、1年生の頃の弱々しい姿より、もっと格好いい私たちに成長できました。そして、部活動を通して、もっとスポーツのことが好きになった人もいます。今、私たちの中には、将来の目標としてスポーツを頑張っている人がいるほどです。部活動を通して、私たちは、新しい自分に出会うことができました。心の面で成長したり、社会性が身についたりしたと思います。

そんな部活や学校生活で共に高めあったのは、個性あふれる素敵な後輩でした。1年生はすごく元気で、3年生にたくさん話しかけてくれました。2年生は、3年生よりしっかりしていて、個性があって頼りがいがあるなと思っていました。みなさん、仲良くしてくれたり、部活動や行事でついてきてくれてありがとうございました。これからも西土佐中学校を、明るく、元気な学校にしてください。

また、学校生活を送っていく中で、私たちは素晴らしい先生方にたくさん会うことができました。1年生の頃は、できないことや分からないことをたくさん先生方に丁寧に教えていただきました。2年生では、3年生になるために、自分たちの課題を同じ目線に立って指導していただき、成長することができました。3年生では、受験のために、勉強で分からないことがあったら、いつも納得いくまで教えていただいたので、安心して受験に臨むことができました。いつも身体を張って楽しませてくれた白木先生、ギャグでみんなの笑いを生み出した田村先生、みんなのお母さんの存在だった下山先生。そんな先生方が一生懸命にサポートをしてくださったので、ここま



で成長することが

できました。3年間、私たちを支えていただきありがとうございました。

そして、お父さん、お母さん、今まで愛情いっぱい育ててくれてありがとうございます。悩んだときは悩みを聞いてくれたり、部活動や学校の送り迎えをしてくれたりとお世話になったことばかりです。高校に入ってからたくさん迷惑かけると思うけど、こんな私たちのことをこれからもよろしくお願いします。

こうして思い返すと、楽しかったことばかり浮かんでいきます。本当に充実した3年間でした。4月からは、今より人数の多い場所で生活していきます。人との関わり方や寮での生活など、不安になることがあると思います。だけど、私たちは自分自身で決断をして、成長していきます。高校卒業後、社会に出たら、全て教えてくれる人はいません。だから、1人でも自信を持って生活を送っていきたいです。

最後になりましたが、私たちの学校生活を支えてくださった全ての方に、改めて心より感謝申し上げます。そして、皆様のご健康と、今後ますますの西土佐中学校の発展をお祈りし、答辞といたします。

令和6年3月13日

答辞作成委員

小川彩愛 高田斗也 武内順生 濱田美羽

卒業生代表 今井文香

